

札幌地区連合青年委員会第31回定期総会



札幌地区連合青年委員会は、11月28日、11組織50名の仲間が結集し、第31回定期総会を開催しました。総会議論では、自治労全道庁、電力総連、JR総連の代議員から職場の活動報告をはじめ、活動方針を補強する職場発言がされました。

佐藤委員長は「青年委員会の運動を継承・発展

青年委員会定期総会

させるため、執行部一丸となつて取り組む。ご理解ご協力と結集をお願いする」と挨拶し、参加者全体の団結カンパローで決意を確認しました。

中野渡委員長は「札幌地区連合女性委員会は、1994年の結成以来、各組織における女性活動の充実・強化を基に、職場や労働組合での男女平等、女性や子どもに関する政策の充実に向けて運動を進めてきた。女性委員会は

女性委員会解散総会

札幌地区連合女性委員会は、12月11日、13組織34名が出席し、解散総会を開催しました。総会では活動経過と総会宣言が確認され、討論では札幌教組、自治労全道庁、JR総連、JP労組、情報労連の代議員から発言があり、各組織における取り組みを全体で共有しました。



本総会をもって解散となるが、ジェンダー平等・多様性を認め合う取り組みの推進は、連合運動の重要な位置づけとなっており、産別や地域における課題の共有化や取り組みは、新たな形で継承されることになる。これまでの感謝と合わせ引き続き取り組みへの協力をお願いする」と挨拶し、参加者全体の団結カンパローで30年を超える歴史に幕を下ろしました。



札幌地区連合は、毎月5日を「れんごうの日」と定め、連合推薦の道議会議員・市議会議員と合同による街頭宣伝活動を実施しています。

1月5日は南1西3交差点付近で実施しました。札幌地区連合吉田会長から春闘を始め連合が取り組む課題について呼びかけ、札幌市議会民主市民連合の篠田市議、松原市議、漆原市議、あおい市議から市政課題と政治課題など道行く市民に訴えました。

1/5
れんごうの日街宣
札幌市内中心部で訴え

連合北海道2026!!! こだわろ! 暮らしの向上 ひろげよう! 仲間の輪 春季生活闘争方針を決定!

I. 2026春季生活闘争の意義と基本スタンス

日本の実質賃金を1%上昇軌道に乗せ、これからの"賃上げノルム"にしよう

2022春季生活闘争からスタートした「未来づくり春闘」は、賃金、経済、物価を安定した巡航軌道に乗せることを目標の一つとして位置づけるとともに、中長期的視点から企業の持続的成長、日本全体の生産性向上につながる「人への投資」の重要性を強く訴えてきた。「未来づくり春闘」評価委員会報告は、「現在は賃金と物価が安定的に上昇する経済に移行するまでの過渡的な状況にあり、2026年はその実現のための正念場でもある。日本の実質賃金を1%上昇軌道に確実に乗せることを最優先に、労使で春闘に取り組んでいくべき」としている。いまこそ、「新しいステージ」の転換・定着の段階から、実質賃金の持続的な上昇を伴う「賃上げノルム」の確立をめざすときである。物価高やいわゆるトランプ関税の影響など現下の課題も踏まえつつ、中長期的視点から賃上げの大きな流れを継続・拡大し、すべての働く人の生活向上を実現する。

II. 賃金要求の基本的な考え方

〈賃金要求指標パッケージ〉

底上げ	賃上げがあたりまえの社会の実現にむけ、全力で賃上げに取り組み、社会全体への波及をめざす。すべての働く人の生活を持続的に向上させるマクロの観点と各産業の「底上げ」「底支え」「格差是正」の取り組み強化を促す観点から、全体の賃上げの目安は、賃上げ分3%以上、定昇相当分(賃金カーブ維持相当分)を含め5%以上とし、その実現にこだわる。中小労組などは、この間の賃上げ結果や賃金水準を点検し、格差是正を積極的に要求する。	
格差是正	規模間格差是正	雇用形態間格差是正
	<到達目標水準(中位数)> 35歳:312,000円 30歳:288,000円 <最低到達水準(第1四分位)> 35歳:257,000円 30歳:245,000円	・有期・短時間・契約等で働く者の賃金を「働きの価値に見合った水準」に引き上げていくため、フルタイム労働者と同様に能力の高まりに応じた処遇の実現に取り組む。賃上げ・昇給等により、経験5年相当で時給1,450円以上をめざす。
底支え	・企業内のすべての労働者を対象に協定を締結する。 ・締結水準は、生活を賄う観点と初職に就く際の観点を重視し、時給1,300円以上をめざす。	

III. 回答ゾーンの設定

先行組合回答ゾーン	3月16日(月)~19日(木) (最大のヤマ場は3月17日~19日)
3月内決着回答ゾーン	3月20日(金)~31日(火)
中小組合回答ゾーン	4月1日(水)~

2026春季生活闘争勝利!全道総決起集会 3月10日(火)18時/共済ホール

連合北海道は12月24日に第92回地方委員会を開催し、2026春季生活闘争方針を決定しました。2026春闘は2年連続の大幅賃上げを受けて、この流れを継続するため重要な闘いとなることから、「未来づくり春闘」を

深化させ、「働くことを軸とする安心社会」の実現に向けて、格差是正と分配構造の転換に取り組む。「人への投資」をより一層積極的に行うとともに、持続的な生活向上の実現をめざす。「みんなの春闘」を展開し、未組織で働く

多くの仲間を寄り添い、仲間づくりを進めるとしました。

連合石狩地協・札幌地区連合はこの方針をふまえて、1月30日に2026石狩地域春闘討論集会を開催し春闘方針を提案します。

2026春季生活闘争 石狩地域討論集会

日時 2026年1月30日(金) 13時30分~

場所 ホテルライフオー札幌 札幌市中央区南10条西1丁目

内容 ◎基調講演
◎連合本部「2026春闘方針」
◎連合北海道・連合石狩地協「2026春闘方針」
◎各構成組織の取り組み報告

主催 連合北海道・連合石狩地協
お問合せ 連合石狩地協 担当:光崎(011-210-1212)

各構成組織
のご参加
をお願いします!

連合北海道札幌地区連合会ホームページ



労働相談ホットライン
フリーダイヤル いこうよ れんごうに
0120-154-052

QRコードで速報をチェック!

<https://rengo-sapporo.jp/>



札幌市中央区北4条西12丁目 ほくろビル2階
編集発行人 吉田 賢一 ☎210-0505
2026年1月15日 492号
連合北海道札幌地区連合会